

**高校生による
「振り込め詐欺等防止啓発活動」に
関する報告書**

平成 29 年度実施校 埼玉県立熊谷農業高等学校

目次

活動の趣旨・経緯.....	1
学校概要	1
実施スケジュール.....	2
実施概要	3
* 5月	
講義「振り込め詐欺等の手口とその対策」を実施(講演者 全国銀行協会).....	3
スローガン、マスコットキャラクターの校内募集および選考を実施	4
* 6月	
講義「熊谷市内における詐欺等の被害状況や防止活動の具体例等」(講演者 熊谷警察署生活安全課)	4
スローガン、マスコットキャラクターを使用した啓発グッズの制作を開始	6
* 7月	
熊谷警察署と合同で振り込め詐欺等の防止啓発活動を実施	6
* 9月	
敬老の日を前に、高齢者に振り込め詐欺等の防止啓発活動を実施	8
* 10 月	
「防犯のまちづくり街頭キャンペーン」(JR 熊谷駅)に参加	9
地元の銀行に啓発グッズの設置等、振り込め詐欺等防止啓発活動への協力を依頼	10
「防犯のまちづくり街頭キャンペーン」(アリオ深谷)に参加	11
全校生徒に振り込め詐欺等防止啓発活動の中間報告を実施	12
文化祭の来場者を対象として、振り込め詐欺等の防止啓発活動とアンケートを実施	13
* 11 月～	
「安心・安全とどけ隊」による戸別訪問活動に参加	15
文化祭来場者を対象としたアンケートを集計	17
2017 振り込め詐欺等防止啓発活動報告(生徒作成)	18
1年間のまとめ	20

活動の趣旨・経緯

本取組みは、学校家庭クラブ等の枠組みを活用して、生徒自身が振り込め詐欺等の被害が身近なところで起きている問題であることと捉え、その防止策等について理解し、生徒自身が考えた「振り込め詐欺等防止啓発活動」を地元地域で実践することで、生徒による社会貢献活動、ひいては地域における「振り込め詐欺等防止啓発活動」の自立的な広がりを期待したものである。全銀協は本取組みに関して、支援金の拠出や、活動に当たっての各種アドバイスや資料提供などのサポートを行うこととしている。

本取組みは、①「消費者教育に関する基本的な方針」(平成 25 年6月閣議決定)において、金融経済教育と連携した消費者教育を推進することが重要であることが示されたこと、②学校教育においてアクティブラーニング(課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習)の重要性が高まっていること、③全銀協の金融経済教育活動懇談会(平成 27 年2月開催)において、学校家庭クラブの活用、特殊詐欺防止をテーマとした生徒による教材制作について提言があったことなどを踏まえ、28 年度より試験的に導入したものであり、以下のような効果を期待している。

- 対象層数の拡大…金融経済教育に取り組む学校・教員・生徒数の増加
- 教育現場との連携強化…教育委員会・家庭科教員との新たなパイプ作り
- アクティブラーニングの実践…高校生が主体的・協働的に学ぶ学習機会の提供
- 金融犯罪防止啓発活動の効果…高校生が考える防止啓発活動の実践
- 対外PR力の向上…高校生による活動報告公表による広告効果

2年目となる平成 29 年度は、昨年度に引き続き埼玉県教育委員会下で実施校を募集し、従前から地元警察と連携した交通事故防止運動に取り組んできたノウハウを持つ、埼玉県立熊谷農業高等学校に「振り込め詐欺等防止啓発活動」を委嘱した。

※リリース(全国銀行協会 HP)

<https://www.zenginkyo.or.jp/news/detail/nid/8170/>

学校概要

■沿革

明治 35 年に埼玉県立甲種熊谷農学校として開校。

生物生産技術科(植物生産コース、ガーデニングコース)、生物生産工学科(動物科学コース、フラワーコース)、食品科学科、生活技術科(生活科学コース、生活福祉コ

ース)の4学科(7コース)で構成される、農業単独校。

■グランドデザイン

命を育み知を磨く学舎

実施スケジュール

4月	(年度全体の活動内容等を計画)
5月	● 講義「振り込め詐欺等の手口とその対策」を実施(講演者 全国銀行協会) ● スローガン、マスコットキャラクターの校内募集および選考を実施
6月	● 講義「熊谷市内における詐欺等の被害状況や防止活動の具体例等」を実施(講演者 熊谷警察署生活安全課) ● スローガン、マスコットキャラクターを使用した啓発グッズ(チラシ、横断幕、のぼり旗、植物を使った置物等)の制作を開始
7月	● 熊谷警察署等と合同で振り込め詐欺等の防止啓発活動を実施
8月	(各種啓発グッズの制作を継続)
9月	● 敬老の日を前に、高齢者に振り込め詐欺等の防止啓発活動を実施
10月	● 「防犯のまちづくり街頭キャンペーン」(JR 熊谷駅)に参加 ● 地元の銀行に啓発グッズの設置等、振り込め詐欺等防止啓発活動への協力を依頼 ● 「防犯のまちづくり街頭キャンペーン」(アリオ深谷)に参加 ● 全校生徒に振り込め詐欺等防止啓発活動の中間報告を実施 ● 文化祭の来場者を対象として、振り込め詐欺等の防止啓発活動とアンケートを実施
11月～	● 「安心・安全とどけ隊」による戸別訪問活動に参加 ● 文化祭来場者を対象としたアンケートを集計 ● 終業式における「2017 振り込め詐欺等防止啓発活動報告」(生徒作成)を全校生徒に配布

実施概要

埼玉県立熊谷農業高等学校家庭クラブ本部役員が中心となり、全校を挙げて活動を実施(啓発グッズは生活技術科の生徒が制作、調べ学習の内容をまとめた掲示物は1年7組が作成、アンケート調査は同クラスと家庭クラブ本部役員が実施)。

2017年5月10日(水)・11日(木) 9:50～11:40 熊谷農業高等学校

■講義「振り込め詐欺等の手口とその対策」を実施(講演者 全国銀行協会)

振り込め詐欺等防止啓発活動を行っていくうえで、振り込め詐欺等の特殊詐欺について理解を深めてもらうため、同校6クラスを対象に、「振り込め詐欺等の手口とその対策」について、全銀協職員による講義を実施した。

高齢者等がターゲットになりやすい振り込め詐欺等の手口(オレオレ詐欺、還付金詐欺、金融商品等取引名目詐欺等)について、劇形式で手口を再現した動画を放映し、具体的にイメージしたうえで、手口の特徴や誘い文句、埼玉県内で実際に発生した事例、被害に遭わないためのポイントについて、手口ごとに解説した。

その後、全国および埼玉県内の特殊詐欺の発生状況、被害者はどのように犯人にお金を渡したのか等を各種統計で確認し、警察や銀行が実施している特殊詐欺の未然防止の活動(窓口・ATMコーナー等での声掛けの徹底、ATMコーナーでの携帯電話通話自粛の呼びかけ、ATM利用限度額引き下げの奨励、不審な口座開設の排除、口座売買の防止等)を紹介した。

また、28年度の振り込め詐欺等防止啓発活動実施校(埼玉県立越谷総合技術高等学校)においては、マスコットキャラクターの考案や啓発グッズ・掲示物等の制作、同校文化祭や地元公民館での発表、駅でのグッズ配布等が行われたことを紹介した。

[講義の様様]



2017 年5月 熊谷農業高等学校

■スローガン、マスコットキャラクターの校内募集および選考を実施

地域の方々に振り込め詐欺等の防止啓発を行うために、本活動のスローガンやマスコットキャラクターについて校内で募集・選考した。

その結果、以下の案で決定し、これらをもとにした防止啓発グッズの制作が進められることとなった。

【スローガン】

オレオレと かかってきたら「君の名は？」

【マスコットキャラクター】



2017 年6月 23 日(金) 9:50～10:40 熊谷農業高等学校

■講義「熊谷市内における詐欺等の被害状況や防止活動の具体例等」を実施(講演者 熊谷警察署生活安全課)

本活動の一環として、地域の振り込め詐欺等の状況を知るために、熊谷警察署生活安全課の警察官2名を講師として、講演を受けた。

はじめに、講師から「これまで、振り込め詐欺等が疑われるような電話を、自分や周囲の人が受けた経験がある人はいるか」という問いかけがあり、「おばあちゃんのところにかかってきたことがある」など、数名の生徒から手が挙がった。講師からは、一度そういった電話を受けた人は2度、3度と怪しい電話がかかってくる可能性があること

等が伝えられ、実際の振り込め詐欺等の事例を、講師が寸劇で再現して確認していた。

寸劇では、講師2名がそれぞれ犯人役とターゲット役になり、犯人が銀行員や警察官になりすまし、言葉巧みにターゲット役からキャッシュカードやその暗証番号等をだまし取る様子が演じられた。

寸劇の後には、講師から以下のようなことが伝えられた。

- ・高齢者だけではなく、実は若い人たちも特殊詐欺被害に遭っている。その一つが架空請求詐欺であり、SMSでギフトカード等をだまし取るようなものが頻発している。
- ・また、詐欺被害に遭わないことと併せて、自分たちが犯人に加担しないようにしないといけない。以前、振り込め詐欺の犯人グループの出し子役になっていた高校生を検挙したことがあり、その高校生から犯人グループの指示役等の情報を話してもらったが、その後、その高校生は犯人グループからの仕返しを恐れて、少年院を退院した後は家族で引っ越すことになった。別の事件で出し子役をしていた子どもが、だまし取ったお金に手を付けて悲惨な目に遭ったような例もある。「良いバイトがあるけどやらない？」など甘い言葉で声を掛けてくるが、犯罪行為は法律違反で必ず捕まる。犯人側に加担するとこれから先の人生を棒に振ることになると、しっかりと覚えておいてもらいたい。

その後、講師からこれまでの経験に基づいた、振り込め詐欺等の手口や犯人に狙われた人の傾向、企業などと連携した対策について説明があった。

最後に講師から「確たる理由がない『私は騙されないから大丈夫』は、大丈夫ではない」ことが伝えられた。

[講義の様様]



[配布物]



2017 年6月 熊谷農業高等学校

■スローガン、マスコットキャラクターを使用した啓発グッズ(チラシ、横断幕、のぼり旗、毛糸コケ玉等)の制作を開始

5月に校内で募集・選考したスローガンやマスコットキャラクターを使用して、今後の活動で活用する啓発グッズの作成を開始した。

【以下、完成物の写真】

[チラシ]



[横断幕]



[のぼり旗]



[毛糸コケ玉(植物を使った置物)]



2017 年7月 14 日(金)13:00~14:00 八木橋百貨店

■熊谷警察署等と合同で振り込め詐欺等の防止啓発活動を実施

熊谷警察署、埼玉県北部地域振興センター、熊谷市役所安全課と合同で、振り込

め詐欺等防止啓発活動として、八木橋百貨店周辺で一般消費者にグッズの配布、振り込め詐欺等防止の呼びかけを行った(同校学校家庭クラブの1～3年生のうち有志10名が参加)。

まず、熊谷警察署から、今週に入ってから管内で振り込め詐欺と思われる電話が増えていること、その電話により実際に被害も出ていることが伝えられ、グッズを配布する際はこうした現状も伝えて欲しい等、配布活動中の注意事項が伝えられた。

その後、八木橋百貨店の西口と東口の2か所に分かれ、主に百貨店の利用客を対象に配布等活動が行われた(配布物は、振り込め詐欺防止啓発スローガンが書かれたチラシ、熊谷農業高等学校の生徒が作成した「帽子型キーホルダー」)。帽子型キーホルダーは、元々は熊谷農業高校が従前から行っている「交通事故防止(帽子)」の啓発活動用に作成しているグッズであったが、交通事故だけではなく、振り込め詐欺の被害「防止」にも活かす考えから、キーホルダーに同封しているメッセージを変更し、活動に合わせたものである。

生徒たちは、最初どのように声をかけたら良いか悩んでいる様子であったが、徐々にコツをつかみ、後半にはスムーズに声かけが出来るようになった。通行人も、高校生が活動する様子を珍しがって、声かけに立ち止まり話を聞いていた。

40分ほどで準備していたグッズ(200個)の配布が終了し、最後に警察官から「今後も高校生や地域の方々と協力して振り込め詐欺等の防止啓発活動を行っていきたいと思うので、ご協力をお願いします」と挨拶があり、この日の活動は終了した。

地域の人々と触れ合い、地元警察等から直近の振り込め詐欺等の状況を聞くことができたこの日の活動は、「振り込め詐欺等防止啓発活動」の担い手としての確かな手応えを感じた様子であった。

[当日の模様①]



[当日の模様②]



2017 年9月 14 日(木)14:00～14:30 八木橋百貨店前

■敬老の日を前に、高齢者に振り込め詐欺等の防止啓発活動を実施

敬老の日(9/18)を間近に控えたこの日、7月の活動に続き、熊谷警察署、埼玉県北部地域振興センター、熊谷市役所安心安全課と合同で、八木橋百貨店周辺において、振り込め詐欺等防止啓発活動を行った。

活動開始前に、各担当者から次のような意気込みが語られた。

- ・地道な活動が詐欺被害を減少させていくので、地域住民にしっかり啓発できるような活動したい(北部振興センター)
- ・熊谷農業高校の生徒の協力を得ながら、地域住民が詐欺被害に遭わないようにしていきたい(熊谷警察署)

その後、八木橋百貨店の西口と東口、北口の3か所に分かれて、帽子型キーホルダーやチラシに加え、熊谷警察署が用意した配布物(詐欺防止啓発のチラシ、ウェットティッシュ等)の配布等を行った。また、今回同校の生徒たちは、自分たちが制作した、振り込め詐欺等防止啓発メッセージを記した「のぼり旗」を手に活動を行った。

今回はチラシと帽子型キーホルダーを別々に配布しており、片方のグッズしか受け取ってもらえない、ということがあったため、今回は配布物をひとまとめにして渡すよう工夫していた。また、声かけについても、まずは「こんにちは、熊谷農業高校です」と元気良く挨拶をしてから、振り込め詐欺等が増えていることや、振り込め詐欺等の防止啓発活動を実施していることを伝えるなど、前回の活動を踏まえて伝え方も工夫している様子が見られた。配布物を受け取った方々は立ち止まって生徒の話をしっかり聞いており、中には「頑張ってくださいね」と声をかけてもらえる場面もあった。

この日は、配布や声かけ方法の改善もあり、30 分程度で用意した配布物(200 個)を配り終えた。八木橋百貨店での啓発活動は今回で2回目となるが、前回とは曜日や時間帯を変えたこともあり、以前、グッズを貰ったことがあるという人はいなかった。生徒たちは、継続的な啓発活動の重要性、必要性を改めて感じている様子であった。

[当日の模様①]



[当日の模様②]



2017 年 10 月 17 日(火)17:00～17:45 熊谷駅

■「防犯のまちづくり街頭キャンペーン」(JR 熊谷駅)に参加

この日は、埼玉県議会防犯のまちづくり推進議員連盟と埼玉県の共催で実施された「防災のまちづくり街頭キャンペーン」に参加し、熊谷駅で帽子型キーホルダー(200 個)とチラシを配布するなど、振り込め詐欺等の防止啓発を行った。

当日は、同校生徒のほか、熊谷警察署、埼玉県北部地域振興センター、JR 熊谷駅、秩父鉄道、熊谷商工会議所、近隣の自治会等、多くの団体が参加した。

最初、埼玉県議会防犯のまちづくり推進議員連盟の議員や熊谷市長、熊谷警察署生活安全課の方等からそれぞれ挨拶があり、JR 熊谷駅長からは「熊谷駅は乗り降り合わせて 6 万人が利用する駅であり、どうしても様々な犯罪が起こってしまう。市民の方と協力して安全なまちづくりをしていきたい」という話があった。

その後、参加者全員で記念撮影をし、配布活動を開始した。JR 熊谷駅長の話のとおり、多くの方が利用する駅ということもあり、小さい子どもを連れた保護者や、仕事帰りの方など様々な人が行き交うなか、生徒たちは、改札やコンコース、南口、秩父鉄道の乗換口等に分かれてグッズの配布と声かけを行っていった。

今回の活動では、一緒に活動を行った他の団体等との交流もあり、活動や啓発グッズ等について情報交換等をした。

グッズ配布(200 個)は 30 分程度で終了し、最後に、埼玉県北部地域振興センターから「犯罪のない安全な熊谷市になるよう、これからも継続的に地域で協力していきましょう」と挨拶があり、この日の活動は終了した。

[参加者の様子]



[声かけの様子]



2017 年 10 月 25 日(水)、11 月 27 日(月) 熊谷駅周辺の銀行店舗

■地元の銀行に啓発グッズの設置等、振り込め詐欺等防止啓発活動への協力を依頼

熊谷駅周辺の銀行5店舗(三井住友銀行熊谷支店、東和銀行熊谷支店、北越銀行熊谷支店、埼玉りそな銀行熊谷支店、同行熊谷駅前支店)を往訪し、これまでに制作してきたグッズ(のぼり旗、毛糸コケ玉、リース)を渡し、掲示を依頼した。

各銀行においては、これまでの活動内容や啓発グッズについて説明を行い、協力を依頼した。

支店からは「埼玉県は振り込め詐欺が多い地域であり、銀行でもいろいろな対策をしているが、思うように防止できていないのが現状であり、今回のグッズも銀行の詐欺防止の活動に役立てていきたい」、「防災無線等で毎日のように振り込め詐欺の防止について喚起されており、重要な情報として市民に届かなくなっている恐れがあることから、こうした高校生の声の方が届きやすいかも知れない」などの意見をもらった。

生徒たちは「はじめて銀行の方と話をして、こういう方々が私たちのお金を安全に預かっているのだと実感した。家庭クラブの活動で、市民の方の詐欺被害防止の役に立つことができればと活動しているが、銀行に啓発グッズを置いてもらえて、詐欺防止の啓発に活用していただけると聞いてうれしかった」と話していた。

[毛糸コケ玉]



[リース]



■「防犯のまちづくり街頭キャンペーン」(アリオ深谷)に参加

この日は、埼玉県議会防犯のまちづくり推進議員連盟と埼玉県の共催で実施された「防犯のまちづくり街頭キャンペーン」に参加し、アリオ深谷で帽子型キーホルダーやチラシを配布し、振り込め詐欺等の防止啓発を行った。

当日は、JR 深谷駅近くにあるショッピングセンター「アリオ深谷」のセンターコートを会場に、埼玉県議会防犯のまちづくり推進議員連盟の議員をはじめ、深谷市長、深谷市警察署や深谷市役所の職員、深谷市の商工会や自治会の方々と一緒に配布活動を行った。

冒頭、参加者から以下のとおり、それぞれ挨拶があった。

- ・今回は高校生にも街頭キャンペーンに参加していただき、心強く思う。今日の活動が市民の防犯意識を高めるきっかけとなるように頑張りましょう(深谷市長)
- ・深谷市で発生している犯罪傾向を踏まえ、自転車盗難や車上荒らし等と併せて、振り込め詐欺等の特殊詐欺について注意して欲しい(深谷警察署長)

その後の配布活動においては、生徒たちは、アリオ深谷の利用客に啓発グッズを配布し、振り込め詐欺に気を付けるよう声を掛けて周った。活動には、埼玉県のマスコット「こぼとん」や「さいたまっち」、深谷市のマスコット「ふっかちゃん」も参加しており、写真を撮りに集まった親子連れにグッズを渡すと、「かわいい帽子ですね」と声を掛けてもらえる場面もあった。また、グッズ配布終了後は、一緒に活動した方々と活動やグッズについて情報交換を行った。

最後に、埼玉県北部地域振興センターの方から「犯罪がさらに減っていくよう、これからもみなさんと協力していきたいと思います」と挨拶があり、この日の活動は終了となった。

なお、当日の様子は 11 月 10 日(金)のニッキン紙面に掲載された。

[参加者の様子]



[声かけの様子]



■全校生徒に振り込め詐欺等防止啓発活動の中間報告を実施

同校の文化祭(熊農祭)のオープニングセレモニーにおいて、4月から半年間活動してきた振り込め詐欺等防止啓発活動について、学校家庭クラブの生徒から全校生徒向けに中間報告を行った。

冒頭、活動の経緯について説明した後、行政や金融機関等で行われている振り込め詐欺等の特殊詐欺の防止策、詐欺被害の発生状況等についての調査結果を報告した。そのうえで、詐欺防止策については、「ポスターや防災無線等で毎日のように広報されているが、そういった注意喚起も日常化しており、人々の耳に届かなくなってしまうことも考えられることから、自分たち高校生が詐欺等防止啓発活動を行う意義がある」ことを説明した。

続いて、これまでの活動(スローガン・マスコットキャラクターの校内公募および決定、啓発グッズ(チラシ、のぼり旗、横断幕、帽子型キーホルダー、毛糸コケ玉、リース等)の制作、街頭での配布活動等学校外での活動)について報告した。

その後、今後の取り組みについて、①10月28日(土)の熊農祭一般公開において、1年7組の生徒が振り込め詐欺等防止啓発を呼びかけるチラシ配布と振り込め詐欺に関するアンケート調査を実施、②11月11日(土)は熊谷警察署の「安心・安全とどけ隊」として、熊谷市内の家庭を戸別訪問し、毛糸コケ玉の配布を行う予定であることを報告した。

最後に、家族が振り込め詐欺の被害にあわないための対策として、知らない番号からの電話には出ないなど具体的な対策を紹介し、ぜひ家庭で実践して欲しいと訴え、中間報告を終えた。

当日は朝日新聞、日本教育新聞から、振り込め詐欺防止啓発活動についての取材を受けた(朝日新聞は10月28日(土)朝刊、日本教育新聞は11月13日(月)号に掲載)。

[当日の模様①]



[当日の模様②]



■文化祭の来場者を対象として、振り込め詐欺等の防止啓発活動とアンケートを実施

この日は、同校の文化祭(熊農祭)の一般公開に合わせ、来場者への啓発活動および振り込め詐欺等に関するアンケートを実施した。

熊農祭は同校の農作物等(野菜、米、味噌等)の販売等を行うため、地域の方が多く集まるイベントとなっており、10 時の開門前から多くの方が校門前に行列を作るほどであった。

当日は、来場者の目に留まるよう、同校校門前に振り込め詐欺等防止啓発活動のスローガンを記した横断幕を設置したうえで、受付において熊農祭パンフレットと合わせて振り込め詐欺等防止啓発活動で作成したチラシを全来場者に配布した。

また、同校恒例の「かかしコンテスト」(時世を表現したり、人気のキャラクターを模したかかしを同校生徒が制作し、コンテストを行うもの)の展示会場において、振り込め詐欺防止啓発活動で制作したマスコットキャラクターをモチーフにしたかかしを、振り込め詐欺等防止啓発のメッセージを記したのぼり旗と一緒に展示したほか、教室前の廊下において、振り込め詐欺等に係る調査内容のまとめ資料を掲示した。まとめ資料では、昨今の特殊詐欺の傾向や、「マイナンバー制度に便乗した詐欺」「オリンピック詐欺」のほか、「劇場型」と呼ばれる複数の会社や犯人が登場する手口等を解説した。

また、校門の周辺やロータリー等で来場者を対象にチラシを配布するとともに、振り込め詐欺等に関するアンケート調査を実施した。アンケート調査を実施した生徒は「思っていたよりもみなさんアンケートに答えてくれた。天気予報が雨だったのでどうなるかと思ったが、たくさんの人に回答してもらえて良かった」と感想を述べた。アンケートの結果は、活動のまとめに役立てていくことを予定している。

〔横断幕の掲示〕



〔マスコットキャラクターのかかし〕



〔調査内容のまとめ資料①〕



〔調査内容のまとめ資料②〕



〔アンケート調査の様様〕



■「安心・安全とどけ隊」による戸別訪問活動に参加

熊谷市の防犯情報発信媒体(メルくま)への登録推進を図り、防犯意識を高揚させること等を目的とした「安心・安全とどけ隊」による戸別訪問が実施され、同校生徒が参加した。

※第1回は同年6月 17 日に実施。熊谷警察署との調整の結果、第2回となる今回は同校生徒が参加。

当日は、戸別訪問を実施する前の出発式として、熊谷警察署長から以下のとおり挨拶があった。

- ・平成 27 年9月 14 日及び 16 日に発生した熊谷連続殺人事件の発生を機に、防災無線やメルくまを使って市民に積極的に情報公開をしている。今年の熊谷市内の犯罪発生状況として、1,412 件の犯罪が発生し、万引きや車上ねらいが増加している。また、振り込め詐欺は 25 件で、現時点で昨年より8件増加している。これらの状況を踏まえ、様々な面から犯罪防止に関する啓発活動の必要性がある。
- ・本年2回目の活動となる今回は、原島、新島地区の各戸を警察官、関係機関職員とともに訪問し、情報発信媒体(メルくま)への登録の呼びかけ、侵入盗や特殊詐欺被害の防止、交通事故防止の呼びかけを行っていく。

その後、熊谷市自治会連合会会長から挨拶があり、今回の取り組みに参加する団体が紹介された(以下)。

- ・熊谷自転車商組合
- ・熊谷警察署少年非行防止ボランティア連絡会
- ・熊谷交通安全協会
- ・熊谷地区安全運転管理者協会
- ・熊谷地区地域交通安全活動推進協議会
- ・熊谷地区交通安全推進事業所協会
- ・大幡自治連合会
- ・埼玉県立熊谷農業高等学校
- ・明治安田生命

その後、警察署員と参加者数名で班に分かれ、戸別訪問に出発した。

同校生徒たちも各班に分かれ、数十件ほどの家庭を訪問していった。生徒たちは、これまで主に実施してきた街頭での活動とは勝手が違うため、緊張した様子であった

が、他団体の方とも協力しながら、各家庭でグッズ配布や声かけ等を行った。

後日、グッズを配布した家庭から、配布物へのお礼の手紙が届いたとのことで、生徒たちは自分たちの活動の広がりを実感していた。

[出発式の模様①]



[出発式の模様②]



[出発式の模様③]



■文化祭来場者を対象としたアンケートを集計

文化祭の一般公開日(10 月 28 日)来場者を対象に実施した「振り込め詐欺に関するアンケート調査」について、回答・集計を行った。

アンケート結果の概要は以下のとおり(アンケート回収数 141 件)。

- ・回答者の 16%が、「振り込め詐欺の電話が家にかかってきたことがある」と回答。
- ・回答者の 60%以上が「自分は詐欺に遭わないと思っている」と回答。その理由については「知らない番号からの電話は出ない」、「あやしい電話があったら相談する人がいる」など、具体的な対策等を講じていることを理由としている回答もあったが、「だまされない自信がある」、「なんとなく」などの具体的な理由がない回答も散見された。
- ・一方、「詐欺にあう恐れがある」との回答の理由は、「新しい手口があるから」、「油断しているとだまされるから」、「何があるか分からないから」などが挙げられた。

アンケートを集計した生徒は、今回のアンケート結果について、「振り込め詐欺の電話がかかってきた人とそうでない人の認識の差を感じた。特に、若い世代は『自分には関係ない』と考えている人が多かったが、詐欺の手口は多様であり、誰もが巻き込まれる可能性のあるものだ」と認識してもらいたい」と話した。

なお、アンケート集計結果は、1年間の活動報告と合わせ、終業式に全校生徒に配布した(18、19 ページ参照)。

2017振り込め詐欺等防止啓発活動報告

埼玉県立熊谷農業高等学校 学校家庭クラブ

私たち学校家庭クラブでは今年度、全国銀行協会ご支援のもと振り込め詐欺等による被害を減らすために様々な活動に取り組んできました。校内では生活技術科だけでなく先生方・他学科のみなさんのご協力により学校全体で取り組むことができました。校外では近隣の方々や熊谷警察署、銀行、郵便局等、たくさんの方にご協力いただきました。大変ありがとうございました。

ここで1年間の活動をご報告いたします。

〈年間の取り組みと流れ〉

4月 年度全体の活動内容の計画

5月 講義「振り込め詐欺等の手口とその対策」の実施
(講演者 全国銀行協会)

スローガン決めの標語募集

決定した【スローガン】

オレオレと かかってきたら 「君の名は？」

マスコットキャラクター決め

決定した【マスコットキャラクター】 右絵 ➡



6月 講義「熊谷市内における詐欺等の被害状況や防止活動の具体例」の実施

(講演者 熊谷警察署生活安全課)



啓発グッズ決め

決定した【啓発グッズ】

・スローガンの大横幕、のぼり旗、チラシ

・マスコットをモチーフにした植物の置物

左絵 ➡ 毛糸のコケ玉

これらの制作を開始

7月 熊谷警察署等と合同で振り込め詐欺等の防止啓発活動の実施

8月 (各種啓発グッズ制作を継続)

9月 敬老の日キャンペーン、県の高齢者に振り込め詐欺等防止啓発活動に参加

10月 「防犯のまちづくり街頭キャンペーン」に参加

(熊谷駅、アリオ深谷にて7月、9月ともに呼びかけと詐欺帽子の配布)

地元の銀行・郵便局に啓発グッズ(毛糸のコケ玉、リース、のぼり旗、詐欺帽子等)を持参、振り込め詐欺の防止啓発活動への協力を依頼

〈文化祭にて〉

1年7組では、在校生や来場者に振り込め詐欺防止についてビラを配りながらの呼びかけ、及びアンケート調査を実施しました(アンケートの結果は裏面のとおりに)。また、クラスの廊下に詐欺について調べたことをまとめ掲示しました。学校家庭クラブ本部役員は体育館で行われた開祭式で、振り込め詐欺防止啓発活動についての中間報告をし、身近に起こっている振り込め詐欺の実態や防止策、これまでの活動の様子について発表しました。

1年7組の掲示



スローガンの大横幕



11月 「安心・安全を届け隊」による戸別訪問活動に参加、毛糸のコケ玉を配布

(この活動は埼玉新聞に掲載されました。)

まとめ

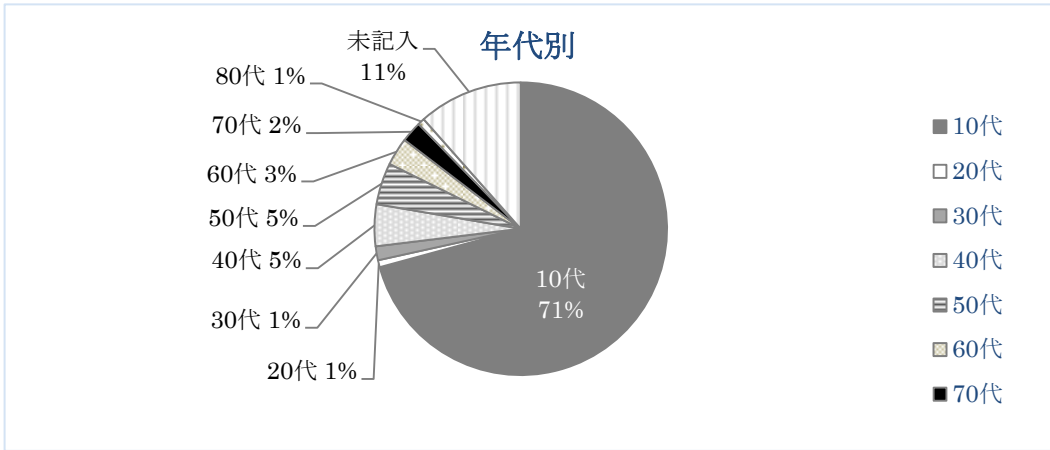
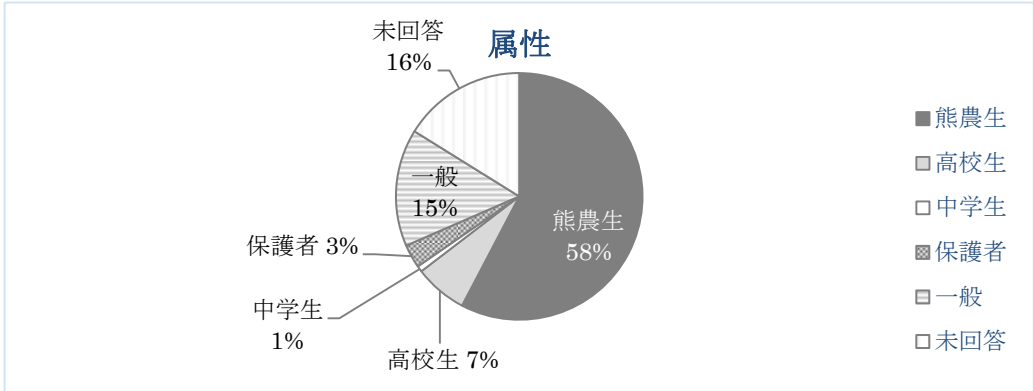
この活動を通してたくさんの方が分かりました。熊農生のアンケート調査では「オレオレと言われただけで被害に遭うなんて…」という意見が大多数を占めていましたが、実際に被害に遭い苦しんでいる人、被害に遭いかけ危ない思いをした人等、世の中にはたくさんいるということが分かりました。そしてこの活動を通してこの問題について考えるきっかけにもなりました。

現実問題として、熊谷市内だけでなく埼玉県内外で振り込め詐欺等の被害が後を絶ちません。被害を減らし、いずれは無くしていくためにも私たちのような高校生も呼びかけていくことが必要だと感じました。自分自身も含め「まずは、身近な人から！」と考え、行動していくことが被害防止につながると思います。今後もみんなで声を掛け合い、防ぐ努力をしていきましょう。

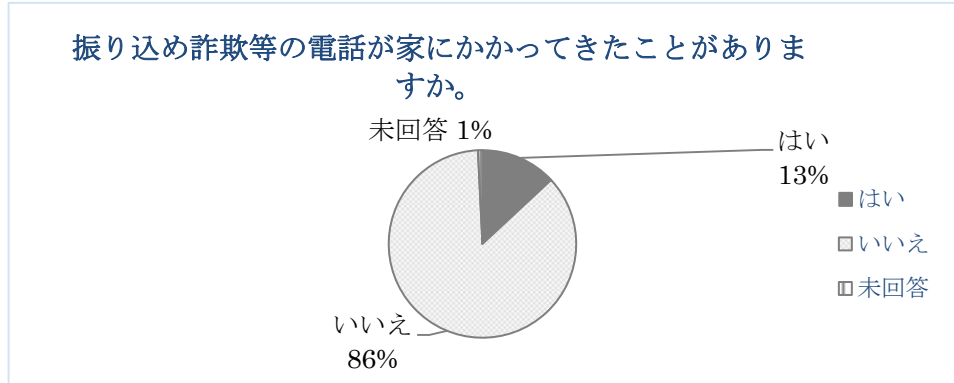
この1年間、スローガンの応募やアンケート調査へのご協力等、本当にありがとうございました。

振り込め詐欺等に関するアンケート調査のまとめ（結果）

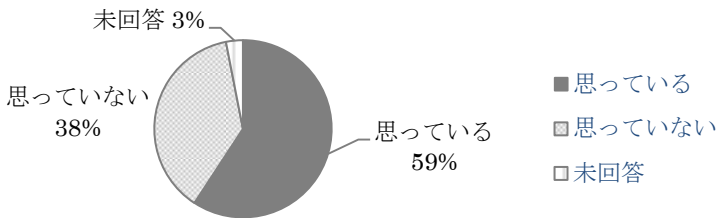
1 ご協力いただいた方々（130 名）



2 ご回答いただいた内容



「自分は詐欺に遭うことはないし大丈夫」だと思っ
ていますか。



被害をなくすために心がけること・・・

- ① 固定電話は常に留守番電話に設定しておく
- ② 心当たりのない電話番号からの電話には出ない
- ③ 息子などの元の携帯電話番号にかけ直す
- ④ 必ず家族や友人など周囲の人に相談する
- ⑤ 知らない人には現金を渡さない

電話でお金のお話が出たら、詐欺だと疑う！

- オレオレ詐欺
 - 知らない人にお金を渡さない！
- 還付金等詐欺
 - ATM では還付金は受け取れない！
- 金融商品等取引名目の詐欺
 - 「あなただけ」という勧誘は怪しいと疑う。

どのような手口があるか知って備えること、
疑わしければ家族や友人に相談することが必要。

■1年間のまとめ

この1年間、振り込め詐欺等防止啓発活動を中心となっていて行ってきた家庭クラブ本部役員の生徒2名と担当の北原教諭に、1年間の活動について振り返りをしてもらった。

生徒に活動で印象に残ったことについて聞いたところ「街頭での啓発グッズの配布活動で、帽子型キーホルダーに興味を持っていただける方が多く、それをきっかけに話を聞いてくれることがあった。自分たちの作った物がたくさんの方の手に渡って嬉しかった」との感想があったほか、振り込め詐欺等防止啓発活動のマスコットキャラクターのデザインを担当した生徒は「自分の描いたイラストが、のぼり旗になって銀行や郵便局等に飾られた。多くの人の目に留まる物になり、活動の実感が沸いた」と話した。また、街頭活動で声をかけた人から「詐欺に気を付けるね」、「かわいいグッズをありがとう」などの反応があったり、戸別訪問で周った家庭からお礼の手紙が届くなど、自分たちの声が届いていることが嬉しかった、とも話した。

一方で、街頭活動や戸別訪問のために毛糸コケ玉やリースなど、多くの配布物を作成したが、学校行事や部活動の合間に啓発グッズを作成することは苦労したとのことであった。

続いて北原教諭に1年間を振り返ってもらったところ「マスコットキャラクターや配布物など、自分たちの作品が形になって人の手に渡ったり、多くの人の目に触れたりしたことで達成感を得ることが出来たと思う。街頭での配布活動でも、ただ渡すのではなく、声の掛け方や対応の仕方などを工夫しており、今後の進路にも役に立つのではないかと感じた。また、振り込め詐欺に関する防災無線などにも敏感になり、地域で起こっていることにも関心を持つようになったのではないかなと思う」と感想があった。

熊谷農業高等学校の家庭クラブの生徒たちは、この1年間、熊谷警察署や全国銀行協会による講義で学んだ振り込め詐欺等の手口や現状等を踏まえたうえで、農業高校ならではのアイデアを取り入れた、人々の目を引く啓発グッズを作成し、街頭活動や戸別訪問等で振り込め詐欺等の手口や対策を伝えてきた。

同校は、今後も地域の安全に関する活動を継続していく意向である。